

学校の概要

1 地域の実態

山野町は、福山市の中心より北へ25Km、周囲を山々に囲まれ市内でも数少ない豊かな自然に恵まれた山間の町である。近年は都市部へ出て働く人々が急増し、急速に過疎化が進んできた。

町内の総世帯数368、総人口983人、65歳以上の人口の割合は約42%となっており老人だけの家庭も増えてきている(2005年4月現在)。また、近年核家族化も進んでいるが、山野では三世代同居も多く、地域の高齢者から多くのことを教わることができる。

保護者はもちろん地域の人々も教育に対する関心が非常に高く、学校の教育活動には常に惜しみない協力がある。「子どもたちは宝」として、地域全体で子どもたちの健全育成を見守っていかうとする土壌がある。

学校行事等には祖父母を含め家族そろっての参加がある。また、総合的な学習の時間にはゲストティーチャーとしても気持ちよく学習活動に参画され、生徒の学習に広がりや深まりを与えるとともに、学校教育を大きく支えてもらっている。

2 生徒の実態

生徒は明るく純朴で、落ち着いて学習に取り組むことができる。また、異学年どうしの交流も日常的によく行っている。幼少時より同じ集団で活動しているためか、固定観念で物事をとらえがちであり、思考力・判断力・表現力に課題がある。特に「自分の思いや考えをうまくまとめられない。」「相手にうまく伝えられない。」など、表現力に課題が見られる。これらの課題を克服し、自立をめざし、小・中の発達段階に応じた取り組みを展開している。

